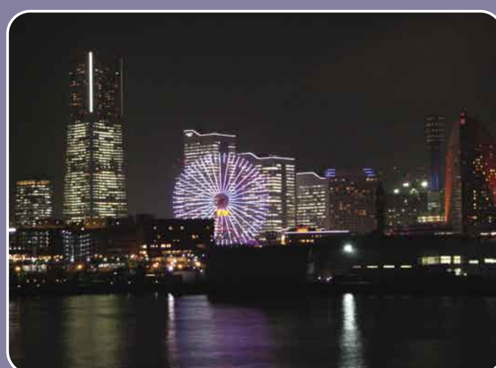








ハンドブック
デジタルHDビデオカメラレコーダー

HDR-AS15

© 2012 Sony Corporation

4-432-600-**02**(1)

JP

ハンドブックの便利な使いかた

右側にあるボタンをクリックすると、該当ページに移動します。
見たい機能を探したいときに便利です。



機能別に探せます

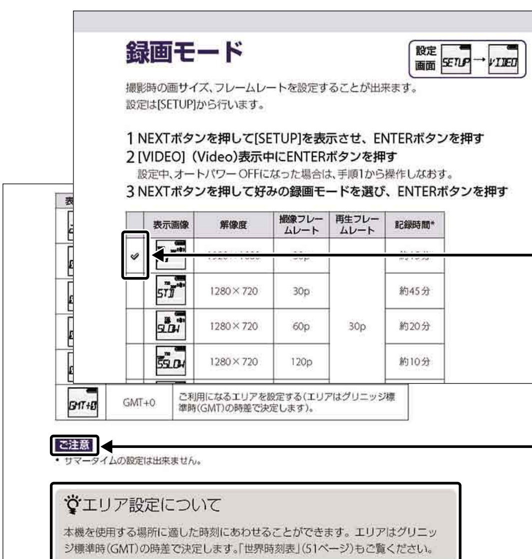
目的別に探せます

設定一覧から探せます

キーワードから探せます

本文中に記載されたページ数部分をクリックしても、各ページに移動します。

本文中のマーク/記載内容について



お買い上げ時の設定は✓で表しています。

本機を正しく動作させるための注意や制限事項を記載しています。

💡知っておくと便利な情報を記載しています。

操作前のご注意

表示言語について
本機では英語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

録画・再生・接続に際してのご注意
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 再生をする場合は、マイクロHDMIケーブル（別売）で他機につないでご使用ください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください（57ページ）。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（57ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機以外で撮影/編集および生成した動画は再生できません。

本機の温度について
本機を連続して使用した場合、本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について
本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。

バッテリーについてのご注意
- 初めてお使いになるときは、必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーについて詳しくは、55ページをご覧ください。

表示パネルおよびレンズについてのご注意
- 表示パネルやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 表示パネルを強く押さないでください。表示パネルの故障の原因になります。

画像の互換性について
- 本機はMP4規格を採用していますが、すべてのMP4規格対応機器で再生できることを保証するものではありません。
- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”（DCF）に対応しています。

著作権について
あなたが本機で撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません
万一、本機やメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

本書中のイラスト、画面表示について
- 画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。
- 本書では、“メモリースティックマイクロ”やmicroSDカードを「メモリーカード」と表現しています。

次のページにつづく↓

- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

他機での再生について

- 本機は、HD（ハイビジョン）画質の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でHD（ハイビジョン）画質で記録した映像はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

ワイヤレスLAN機能について

- ワイヤレスLAN機能が使用できるのはHDR-AS15のみです。
- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- ワイヤレスLANへのアクセスは、地域によってご利用できない可能性や、別途料金が課せられる可能性、通信に障害が起きたり途切れがちになったりする可能性があります。詳細はワイヤレスLANの管理者やプロバイダーにご確認ください。
- ネットワークサービスのご提供にあたっては弊社はいかなる保障もいたしません。ネットワークサービスの使用によって生じた損害について、第三者からのいかなる請求等についても一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティーについて

ワイヤレスLANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。
本機用に生産されたレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

HDR-AS15の機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品のワイヤレスLAN機能は2.4GHz帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、取扱説明書をご覧ください。

2.4DS / OF2 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

本機の楽しみかた

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

アクセサリーを使ってもっと楽しもう！

動画は最大1920×1080 30pのフルハイビジョンで記録

ウォータープルーフヘッドマウントキット＋ウォータープルーフケース





接着マウント＋ウォータープルーフケース





ヘッドマウント





次のページにつづく↓

シェアしよう



画像をアップロードする

本機のWi-Fi機能を使って、スマートフォンなどのデバイスに画像を転送してシェアすることができます（40ページ）。



テレビにつなぐ

マイクロHDMIケーブル（別売）でテレビにつないで、撮影した画像を大画面で楽しみましょう（39ページ）。

目次

パソコンを使う

困ったときは

その他

索引

やりたいことから探す

設定一覧から探す

設定一覧

「項目」をクリックすると、該当ページに移動します。

項目	画面表示	初期設定
録画モード	VIDEO	HQ（1920×1080/30P）
手ブレ補正	STEDY	ON
画角	ANGLE	120°
インターバル静止画記録	LAPSE	5sec
スマートリモコン	RMOTE	OFF
オートパワー OFF	A.OFF	10sec
日時・エリア設定	DATE	2012/1/1 00：00 GMT+0
USB給電	USBPw	ON
設定値リセット	RESET	—
フォーマット	FORMT	—

ご注意

- 本機は英語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

設定のしかた

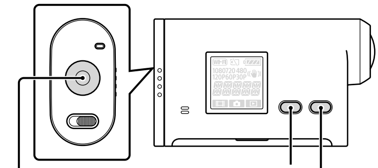
本機は以下3つのボタンで設定をします。

NEXT* ： メニュー送り

PREV* ： メニュー戻し

ENTER ： メニュー決定

* NEXT、PREVボタンのどちらを押してもメニューが切り替わるので、本書内ではNEXTボタンのみで説明をします。PREVボタンだけで操作する場合、PREVボタンを記載します。



1 NEXTまたはPREVボタンを押して、電源を入れる

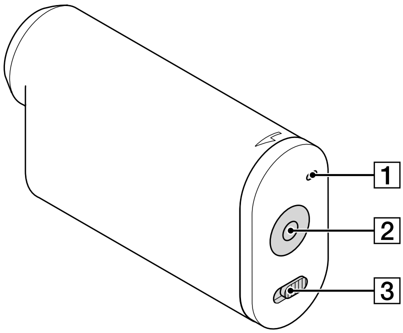
電源を切るには[PwOFF]を選び、ENTERボタンを押す。

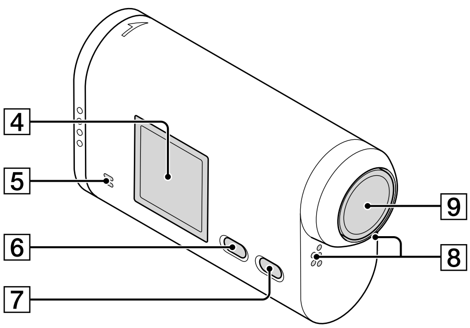
2 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

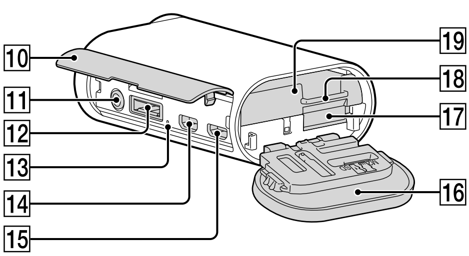
3 NEXTボタンを押して設定する項目を表示させ、ENTERボタンを押す

[SETUP]画面に戻るには、[BACK]を選び、ENTERボタンを押す。

各部の名前







1 REC/アクセスランプ
2 REC START/STOPボタン
ENTER（メニュー決定）ボタン
3 ◀HOLDスイッチ*[1]
4 表示パネル
5 スピーカー
6 PREVボタン
7 NEXTボタン
8 マイク
9 レンズ
10 端子カバー
11 🎤（外部マイク）端子*[2]
12 拡張端子*[3]
13 CHG（充電）ランプ
14 HDMI OUT端子
15 USBマーク（USB）端子
16 バッテリー/メモリーカードカバー
17 メモリーカード挿入口
18 バッテリートレイつまみ
19 バッテリートレイ

*[1] 携帯時など、誤ってSTART/STOPボタンが押されることを防ぎます。スイッチを、◀方向にスライドするとホールドします。解除するには、スイッチを元の位置に戻します。

*[2] 外部マイク（別売）接続時は、内蔵マイクからの録音はできません。

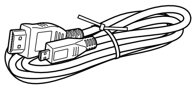
*[3] アクセサリーの接続に使用します。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

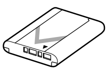
同梱品を確認する

箱を開けたら、同梱品がそろっているか確認してください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。( )内は個数。

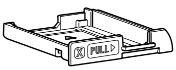
- 本機(1)
- マイクロUSBケーブル(1)



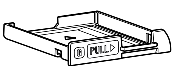
- リチャージャブルバッテリーパック(NP-BX1)(1)



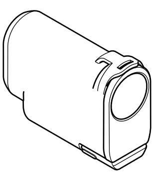
- バッテリートレイ Xタイプ(NP-BX1用)(1)
  本機に装着されています。



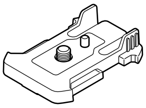
- バッテリートレイ Gタイプ(NP-BG1/FG1用)(1)



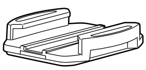
- ウォータープルーフケース(SPK-AS1)(1)



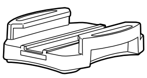
- 接着式マウント(VCT-AM1)
  装着バックル(1)



平面用接着マウント(1)



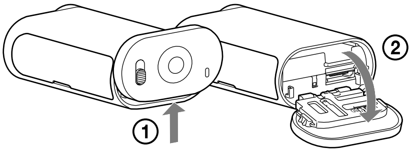
曲面用接着マウント(1)



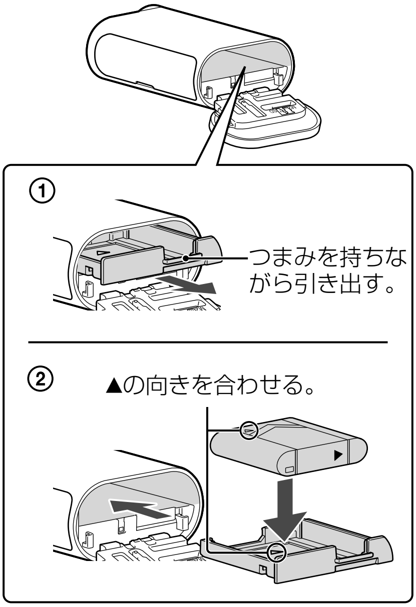
- ハンドブック(本書)
  本機の内蔵メモリーに搭載されています。
- 印刷物一式

バッテリーを入れる

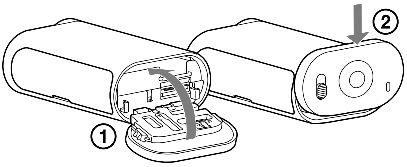
1 バッテリー/メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて、カバーを開ける



2 本機からバッテリートレイを引き出し、トレイにバッテリーをセットして入れる



3 カバーを閉じる



オートパワー OFFにするには

[SETUP]画面から[A.OFF]を選び、自動電源オフの設定をします。お買い上げ時は[10sec]に設定されていますので、必要に応じて変更してください。詳しくは、「オートパワー OFF」(23ページ)をご覧ください。

次のページにつづく↓

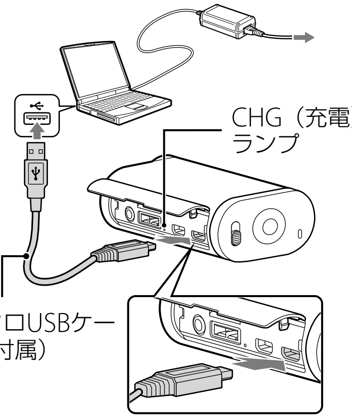
充電をする

1 本機の電源を切る

電源が入っている状態では、充電ができない。

2 本機と起動しているパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する

CHG（充電）ランプが点灯する。



3 充電が完了したら、本機とパソコンの接続を切断する(46ページ)

CHG（充電）ランプが消灯したら充電完了(満充電)(55ページ)。

ご注意

- 本機では、Xタイプ、Gタイプのバッテリーのみ使用できます。
- 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 本機をパソコンに接続しているときに、無理な力を加えないでください。本機やパソコンが破損することがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。本機を接続したまま長時間放置しないでください。
- 自作パソコンや改造したパソコンでの充電や接続は保証できません。同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- 本機を長期間使わない場合、半年から1年ごとに充電してください。

充電にかかる時間は？

充電時間

バッテリーパック	パソコン経由で充電	AC-UD20*(別売)経由で充電
NP-BX1（付属）	約245分	約175分
NP-BG1/FG1	約185分	約140分

- バッテリーを使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

* USBチャージャー AC-UD20（別売)をお使いになると、急速充電ができます。接続する場合、マイクロUSBケーブル(付属)で接続してください。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

バッテリーの残量を確認する

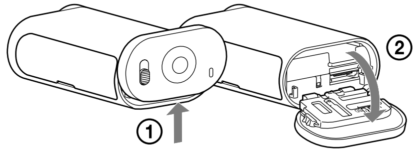
表示パネル右上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多  なし

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。

メモリーカードを入れる

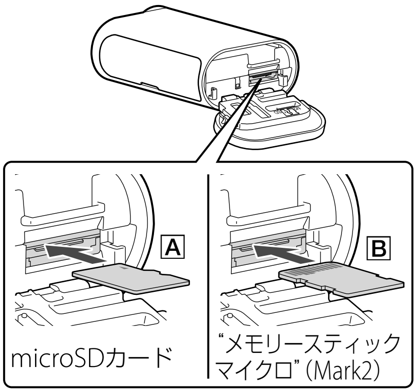
1 **バッテリー/メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて、カバーを開ける**



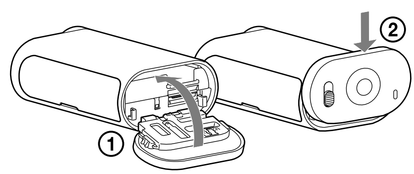
2 **メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む**

microSDカード：イラストAの向きに入れる。
“メモリースティックマイクロ”（M2）：イラストBの向きに入れる。

- [WAIT]が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- まっすぐに正しい向きで挿入しないと本機で認識されません。



3 **カバーを閉じる**



メモリーカードを取り出すには

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

本機で使えるメモリーカードは？

メモリーカードの種類	SDスピードクラス	本書での表現
“メモリースティック マイクロ”（Mark2）	—	“メモリースティック マイクロ”
microSDメモリーカード	Class 4 以上	microSDカード
microSDHCメモリーカード		

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

ご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします（27ページ）。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことは出来ません。
- 大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカード挿入口、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードの挿入口には、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。
- 本機は0 ℃から40 ℃の動作保証をしておりますが、メモリーカードの種類によっては、動作保証温度が異なる場合があります。
  詳しくはメモリーカードの取扱説明書をお読みください。

録画モード

設定画面 

→ 

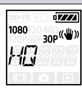
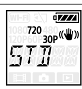
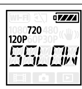
動画撮影時の解像度、フレームレートを設定することが出来ます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 [VIDEO]（Recording Mode)表示中にENTERボタンを押す

設定中、オートパワー OFFになった場合は、手順1から操作しなおす。

3 NEXTボタンを押して好みの録画モードを選び、ENTERボタンを押す

	表示画像	記録映像	解像度	撮像フレームレート	再生フレームレート
✓		最高解像度	1920 × 1080	30p	
		高解像度	1280 × 720	30p	
		2倍のスローモーション映像	1280 × 720	60p	30p
		4倍の超スローモーション映像	1280 × 720	120p	
		標準解像度	640 × 480	30p	
		[VIDEO]画面に戻る			

ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。SSLOWでは約3時間、SLOWでは約6.5時間になります。
- [SSLOW]を選ぶと、手ブレ補正が[ON]に設定されていても手ブレ補正されません。
- 以下の設定では、撮影時に音声は記録されません。
  - [SSLOW]（720 120P)、[SLOW]（720 60P)設定時
- VGAモードでは他のモードと比べて画角が狭くなります。

手ブレ補正

設定画面 

→ 

手ブレを補正して撮影できます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[STEDY]（SteadyShot）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

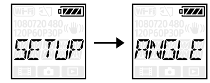
✓		手ブレ補正機能を使う。
		手ブレ補正機能を使わない。
		[STEDY]画面に戻る

ご注意

- 手ブレ補正を[ON]に設定すると、画角は強制的に[120°　]になります。
- 画角を[170°　]に設定すると、手ブレ補正は強制的に[OFF]になります。
- 録画モードを[SSLOW]に設定している場合は、手ブレ補正は無効になります。

画角

設定画面



撮影時の画角が変更できます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 NEXTボタンを押して[ANGLE]（Angle）を表示させ、ENTERボタンを押す

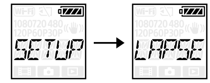
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

		170度で撮影する。
✓		120度で撮影する。
		[ANGLE]画面に戻る

ご注意

- 手ブレ補正を[ON]に設定すると、画角は強制的に[120°　]になります。
- 画角を[170°　]に設定すると、手ブレ補正は強制的に[OFF]になります。
- VGAモードでは他のモードと比べて画角が狭くなります。

インターバル静止画記録

設定画面 

撮影を開始すると停止させるまで一定の間隔で静止画を撮影し続けます。
設定は[SETUP]から行います。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**

2 **NEXTボタンを押して[LAPSE]（Interval）を表示させ、ENTERボタンを押す**

3 **NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す**

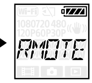
✓		約5秒間隔で静止画を撮影し続ける。
		約10秒間隔で静止画を撮影し続ける。
		約30秒間隔で静止画を撮影し続ける。
		約60秒間隔で静止画を撮影し続ける。
		[LAPSE]画面に戻る

ご注意

- 1枚目の撮影は撮影を開始した直後、設定された間隔を待たずに即撮影され、2枚目以降の撮影から設定された間隔を待って撮影されます。
- 設定された間隔で撮影ができない場合は、遅れて撮影を行います。
- 最大撮影枚数は動画コンテンツ(MP4)と合わせて40000コンテンツとなります。

スマートリモコン

設定画面 

→ 

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続してスマートフォンで本機の操作ができます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 NEXTボタンを押して[RMOTE]（Remote)を表示させ、ENTERボタンを押す

3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

		スマートフォンで操作する。
✓		スマートフォンで操作しない。
		[RMOTE]画面に戻る

4 動画モードもしくは、インターバル静止画記録モードを選択する

5 スマートフォンのアプリを起動し、Wi-Fiで接続する

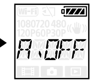
スマートフォンの設定は40ページの「スマートフォンを設定する」をご覧ください。

ご注意

- スマートリモコンではスマートフォンから以下の操作ができます。
  - 画角の確認
  - 撮影開始・撮影停止
  - 撮影モード（動画モード／インターバル記録モード）の変更
  - 録画モード設定の変更（動画モードの場合のみ）
  - 手ブレ補正設定の変更
  - 画角設定の変更
- スマートリモコン機能を使うにはスマートフォンの対応アプリが必要です。
  アプリのダウンロードについては40ページをご覧ください。
- スマートフォンで操作すると本機のバッテリーの消耗が早くなります。
- 撮影画面で、Wi-Fi Direct機器からDirect要求があった場合、受付け[ACPT?]画面でENTERボタンを押すことで、Direct接続でスマートリモコンを操作できます。

オートパワーOFF

設定画面 

→ 

自動電源オフの設定が変更できます。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す
2 NEXTボタンを押して[A.OFF]（Auto Power Off）を表示させ、ENTERボタンを押す
3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

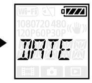
✓		約10秒後に電源が切れる。
		約60秒後に電源が切れる。
		自動的に電源を切れなくする。
		[A.OFF]画面に戻る

ご注意

- 以下の場合は、オートパワー OFFが無効になります。
  - メディア記録中
  - 動画撮影中、インターバル静止画記録中
  - 動画再生中、スライドショー中
  - Wi-Fi接続処理中、スマートリモコン接続中、スマートフォンへ画像転送中
  - HDMI接続中
  - USB給電中
  - マスストレージ接続中
- 以下の場合は、オートパワー OFFを[10sec]に設定していても、電源が切れる時間が延長されます。
  - [SETUP]設定操作中
  - 静止画再生中
  - スマートリモコンの設定が[ON]になっており、Wi-Fiアイコンが表示されているとき

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

日時・エリア設定

設定画面  → 

年-月-日、および エリア設定をします。
設定は[SETUP]から行います。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**

2 **NEXTボタンを押して[DATE]（Date Time）を表示させ、ENTERボタンを押す**

3 **NEXTボタンを押して希望の日時、エリアを変更し、ENTERボタンで確定させる**

真夜中は00：00、正午は12：00に設定する。

表示画像	出荷時設定	
	2012	年の設定をする。
	01	月の設定をする。
	01	日の設定をする。
	00	時の設定をする。
	00	分の設定をする。
	GMT+0	ご利用になるエリアを設定する（エリアはグリニッジ標準時（GMT）からの時差で決定します）。

ご注意

- サマータイムの設定は出来ません。

エリア設定について

本機を使用する場所に適した時刻にあわせることができます。エリアはグリニッジ標準時（GMT）の時差で決定します。「世界時刻表」（56ページ）もご覧ください。

USB給電

設定画面 

→ 

パソコンやUSB機器と本機をマイクロUSBケーブル（付属）で接続するとき、接続先からUSB給電ができます。
設定は[SETUP]から行います。

1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**

2 **NEXTボタンを押して[USBPw]（USB Power）を表示させ、ENTERボタンを押す**

3 **NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す**

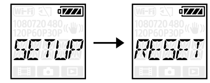
✓		マイクロUSBケーブルで接続したときに給電する。
		マイクロUSBケーブルで接続したときに給電しない。
		[USBPw]画面に戻る

ご注意

- マイクロUSBケーブル接続中に設定を変更した場合は、マイクロUSBケーブルを一度取りはずして、再度接続してください。
- 電源供給が1.5A未満のUSB機器では正常に給電できない場合があります。

設定値リセット

設定画面



設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[RESET]を実行しても、画像は削除されません。

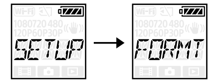
1 **NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す**

2 **NEXTボタンを押して[RESET]（Reset）を表示させ、ENTERボタンを押す**

3 **[OK]表示中にENTERボタンを押して[SURE?]を表示させ、もう一度ENTERボタンを押す**

リセットが完了すると自動的に再起動する。
[SURE?]または[OK]表示中にNEXTボタンを押して[CANCL]を選び、ENTERボタンを押すとリセットはキャンセルされる。

フォーマット

設定画面


フォーマット(初期化)とはメモリーカード内の画像をすべて削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。
設定は[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 NEXTボタンを押して[FORMT]（Format)を表示させ、ENTERボタンを押す

3 [OK]表示中にENTERボタンを押して[SURE?]を表示させ、もう一度ENTERボタンを押す

[DONE]が表示されるとフォーマットが完了する。
[SURE?]または[OK]表示中にNEXTボタンを押して[CANCL]を選び、ENTERボタンを押すとフォーマットはキャンセルされる。

ご注意

- 大切な画像は保存してからフォーマットしてください。
- フォーマット中は以下の操作を行わないでください。
  - ボタンの操作
  - メモリーカードを取り出す
  - ケーブルの抜き差し
  - バッテリーの抜き差し

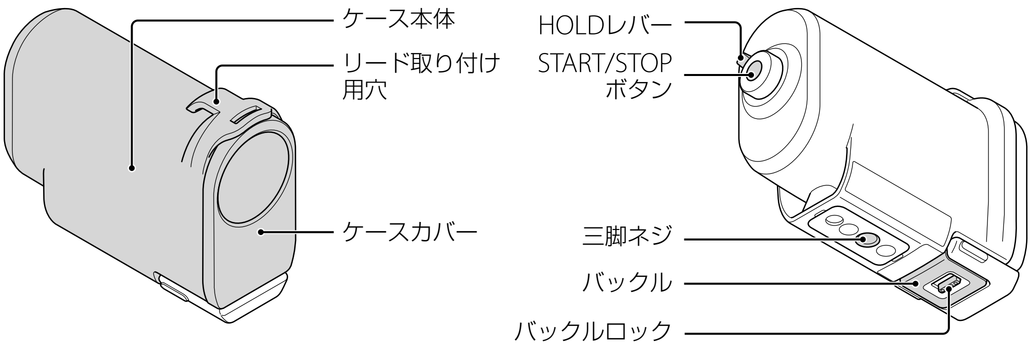
目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

アクセサリーを使う

本機でご使用いただけるアクセサリーの設定方法を説明しています。

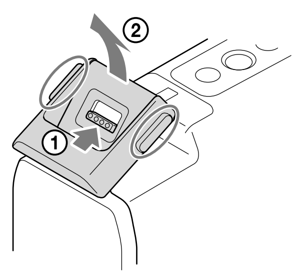
ウォータープルーフケース（SPK-AS1）

本機をウォータープルーフケースに取り付けると、雨天時や海辺で撮影することができます。



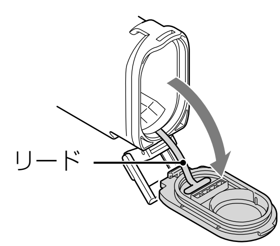
取り付けかた

1 バックルロックを①の方向にスライドさせたまま、円で囲んだ部分を持って、バックルを②の方向に持ち上げる



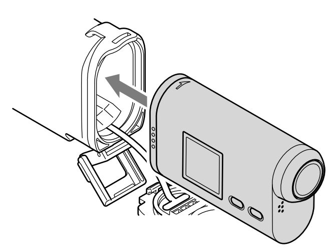
2 ケースカバーを開ける

- ケースカバーのリードが抜けた場合はもう1度取り付けてください。



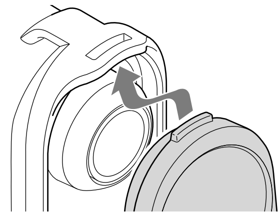
3 ケース本体に、本機を入れる

- バッテリーの消耗を防ぐため、[A.OFF]の設定を[10sec]または[60sec]にしてください。
- ウォータープルーフケースへ挿入後は、設定の切り替えができません。
- 本機の◀HOLDスイッチを解除してください。

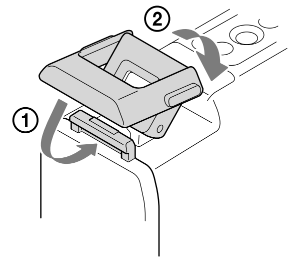


次のページにつづく↓

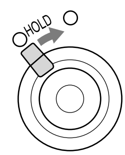
4 ケースカバーの凸部分をケース本体の凹部分にはめ込む



5 ケースカバー底部の凸部分にバックルを引っ掛けて①、②の方向にカチッと音がするまで押して閉める



ご注意



- HOLDレバーをロックにすると、START/STOPボタンが操作できません。操作するときは解除してください。
- 本機をウォータープルーフケースに取り付けて水中撮影すると、画像が通常よりも鮮明に撮影されませんが、故障ではありません。
- ウォータープルーフケースに挿入後は録音はされますが、音のレベルは低下します。
- ウォータープルーフケースのリード取り付け用穴に手持ちのひもを通して、お使いになるアイテムに固定してください。

次のページにつづく↓

取り扱い上の注意

- ウォータープルーフケースを水中に投げ込まないでください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 ℃を超える温水の中
  - 0 ℃以下の場所

  結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- ウォータープルーフケースにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、ウォータープルーフケース表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて

万一ウォータープルーフケース内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。

- カメラがぬれた場合は、相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。
- 万一ウォータープルーフケースの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（カメラ、バッテリーなど）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

Oリングについて

ウォータープルーフケースは、Oリングを使用して防水性を保っています。
Oリングのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水没の原因になります。

Oリングを点検する

- Oリングにゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないかを充分確認して、ある場合は柔らかい布かティッシュペーパーで必ず取り除いてください。
- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
- Oリングを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
- Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、キズ、砂かみなどがないか確認してください。
- ケース本体側のOリング接触面も同様に点検してください。

水漏れの確認方法

ご使用のカメラを収納する前に、ウォータープルーフケースを閉じて水中に沈め、水漏れがないことを必ず確認してください。

Oリングの耐用年数

ウォータープルーフケースの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

次のページにつづく↓

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

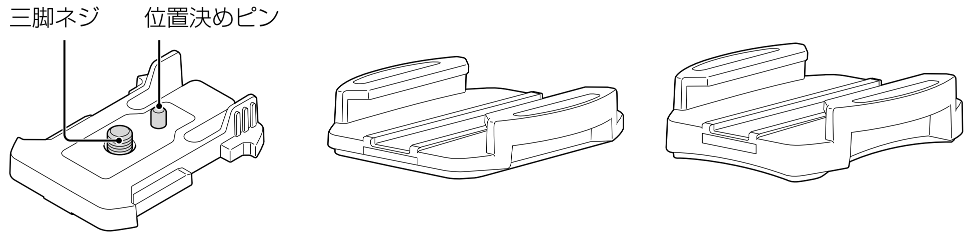
- Oリングの劣化を防ぐために、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しょうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

次のページにつづく↓

接着マウント（VCT-AM1）

お使いになるアイテムにウォータープルーフケースを固定するときに使用します。
接着マウントは、装着バックル、平面用接着マウント、曲面用接着マウントの総称です。
装着前に、本機をウォータープルーフケースに入れてください。

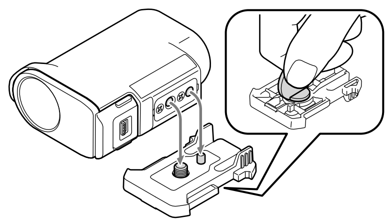
装着バックル　**平面用接着マウント**　**曲面用接着マウント**



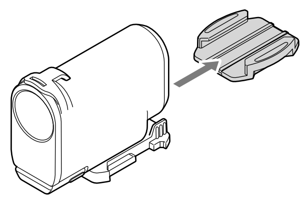
取り付けかた

1 ウォータープルーフケースの底面の三脚ネジ穴に装着バックルのネジ穴を合わせ、三脚ネジを締める

- がたつきがないことを確認する。



2 手順1でセットした装着バックルを平面用または曲面用接着マウントにスライドしてカチッとはめ込む



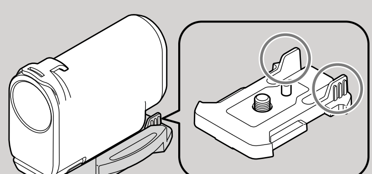
3 接着マウントを取り付ける場所の表面のほこりや、水分や油分を充分に取る

4 接着マウント裏面にある剥離紙をはがして、お使いになるアイテムに固定をする

- 接着力は、お使いになるアイテムに固定してから24時間経過してからが最も高くなります。

装着バックルへの取り付け、取りはずしについて

装着バックルの円で囲んだ部分を押さえるようにしてつかみ、ロックをはずし、手順2と逆の方向にスライドさせてください。



次のページにつづく↓

ご注意

- 一度はがした平面用または曲面用接着マウントは再度お使いになれません。
- お使いのアイテムからはがすときは、ゆっくりとはがしてください。無理にはがすと、お使いのアイテムを傷めることがあります。
- 装着する際にはお使いになるアイテムの表面の状態を確認してください。汚れていたり、ごみまたは水分、油分が付着していると接着力が低下し、少しの衝撃でもはがれることがあります。
- 固定するアイテムの形状に合わせて、平面用または曲面用接着マウントをお使いください。形状の異なる固定用の接着マウントをお使いになると、少しの衝撃でもはずれることがあります。
- ご使用になるときは、ウォータープルーフケースのリード取り付け用穴にお手持ちのひもを通して、お使いになるアイテムに固定してください。
- ご使用の前に、装着バックルのネジ穴ゆるみがないこと、平面用接着マウントまたは曲面用接着マウントが確実に接着面に取り付いていることを確認してください。

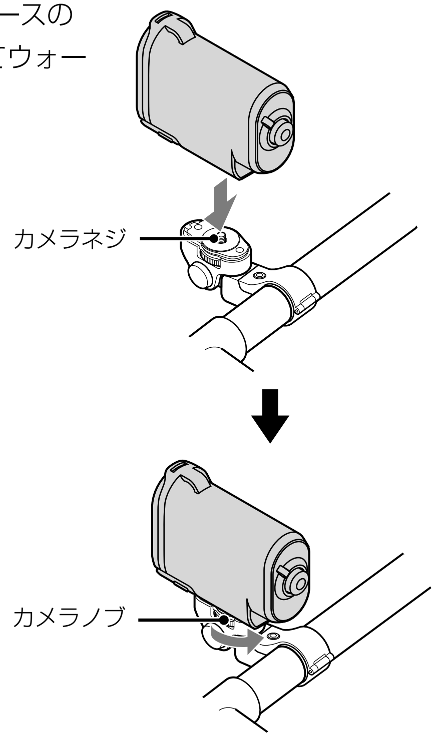
次のページにつづく↓

ハンドルバーマウント(VCT-HM1)(別売)

自転車のハンドルバーにウォータープルーフケースを固定するときに使用します。
装着前に、本機をウォータープルーフケースに入れてください。
詳しくは、ハンドルバーマウント(VCT-HM1)(別売)の取扱説明書をご覧ください。

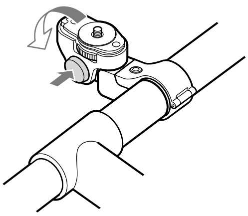
取り付けかた

クレードルのカメラネジをウォータープルーフケースの底面の三脚ネジ穴に差し込み、カメラノブを回してウォータープルーフケースを固定する



カメラネジ部を角度調節するときは

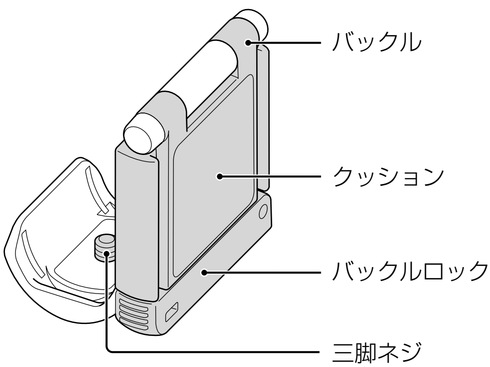
クレードルの左側にあるボタンを押しながら角度を調節します。



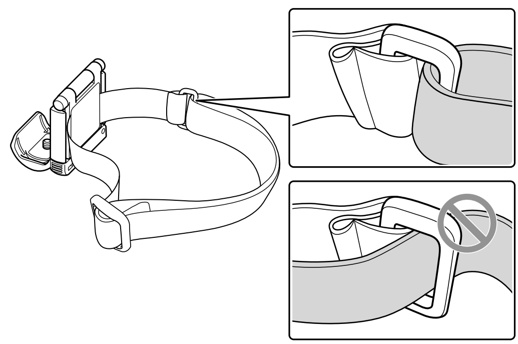
ウォータープルーフヘッドマウントキット（VCT-GM1）（別売）

お使いになるアイテムにウォータープルーフケースを固定するときに使用します。
ウォータープルーフヘッドマウントキットは、ゴーグルマウントとヘッドバンドのキットです。
装着前に、本機をウォータープルーフケースに入れてください。

ゴーグルマウント

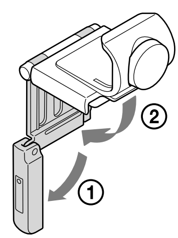


ヘッドバンド



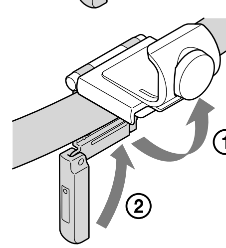
取り付けかた

1 バックルロックを①の方向に回転させ、バックルを開ける②



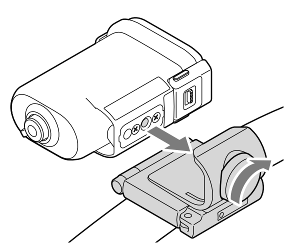
2 お手持ちのゴーグルのベルトをはさみ、バックル①とバックルロック②を元の位置に戻す

ウォータープルーフヘッドマウントキットに同梱されているヘッドバンドも同じ取り付けかたになります。ヘッドバンドの長さは調整できます。



3 ウォータープルーフケースの底面の三脚ネジ穴にゴーグルマウントのネジ穴を合わせ、三脚ネジを締める

- がたつきがないことを確認する。
- 本機を逆向きに取り付けることもできます。



次のページにつづく↓

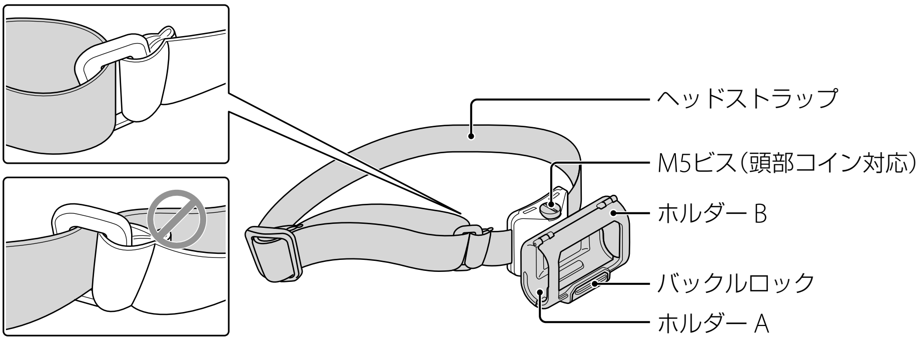
ご注意

- お手持ちのベルトをお使いの場合、40mm以下の幅のものをお使いください。ベルトの形状によっては、本機部分が振動でゆすられることがあります。気になる場合は、同梱のヘッドバンドをお使いください。
- ウォータープルーフケースのリード取り付け用穴にお手持ちのひもを通して、お使いになるアイテムに固定してください。
- ご使用になる環境によっては、激しい振動で本機がゆすられることがあります。
- ゴーグルマウントのベルトの締めかたや、お使いになる状況によっては本機部分に振動が発生します。

次のページにつづく↓

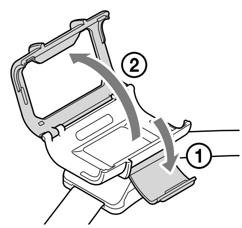
ヘッドバンドマウント（BLT-HB1）（別売）

ヘッドバンドマウントを使って本機を固定することができます。

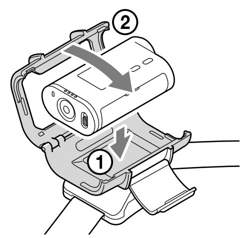


取り付けかた

1 バックルロックをはずし①、ホルダー Bを②の方向に開く

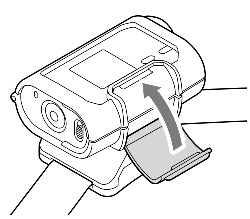


2 本機をホルダー Aに取り付け①、ホルダー Bを閉じる②



3 バックルロックを閉じる

- M5ビス（頭部コイン対応）を緩めると、ホルダーの傾きを変えることができます。緩めた場合は、しっかりと締め直してください。
- ヘッドストラップは、調整することができます。
- 本機を逆向きに取り付けることもできます。

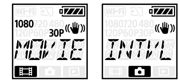


ご注意

- ヘッドバンドマウントは防じん、防滴、防水仕様ではありません。雨天時や水辺では使用しないでください。ウォータープルーフケースは取り付けられません。
- ヘッドストラップはヘッドバンドマウント専用です。取りはずしはできません。
- ヘッドバンドマウントのヘッドストラップの締めかたや、お使いになる状況によっては本機部分に振動が発生します。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

撮る

画面 

◀HOLDスイッチについて

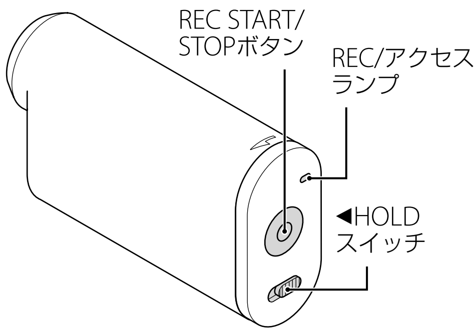
携帯時など、誤ってSTART/STOPボタンが押されることを防ぎます。スイッチを◀方向にスライドするとホールドします。解除するには、スイッチを元の位置に戻します。

- 撮影する前にホールドを解除してください。
- 撮影中にホールドすると、「撮影状態をキープ*」します。
- 撮影を停止した後にホールドすると、「停止状態をキープ*」します。

* 設定を変更する場合は、ホールドを解除してください。

1 **電源を入れ、[MOVIE]もしくは[INTVL]を表示させ、REC START/STOPボタンを押す**

RECアクセスランプが点灯し、撮影を開始する。
電源がすでに入っている場合は、NEXTボタンを押して[MOVIE]を表示させ、REC START/STOPボタンを押すと撮影を開始できます。



2 **撮影を停止するときは、もう一度REC START/STOPボタンを押す**

ご注意

- 撮影モードを変更すると次回電源を入れたときその撮影モードで起動します。

長時間撮影について

- 長時間、連続して撮影し続けると本機の温度が上昇します。一定以上の温度になると撮影が自動的に止まります。
  本機の温度を充分に下げるために、10分以上そのまま放置してください。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

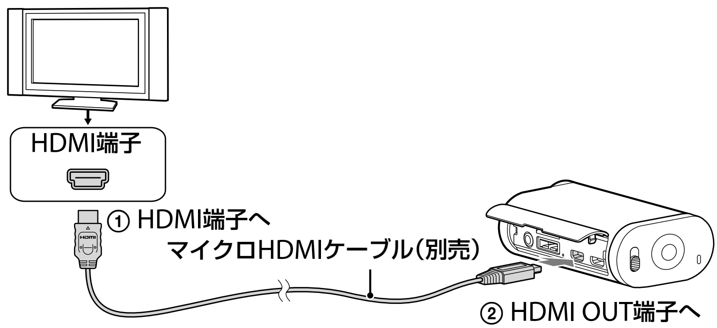
テレビで見る

画面


本機とHDMI端子付きのテレビを、マイクロHDMIケーブル（別売）を使って接続します。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機とテレビの電源を切る

2 端子カバーを開いて、本機とテレビをマイクロHDMIケーブル（別売）で接続する



3 テレビの入力設定を[HDMI入力]に切り換える

4 本機のNEXTボタンを押し、電源を入れる

5 NEXTボタンを押して[PLAY]を表示させ、ENTERボタンを押す

6 NEXTボタンを押して[MP4]または[PHOTO]を表示させ、ENTERボタンを押す

[MP4]を選択すると動画の再生が始まり、[PHOTO]を選択すると静止画の再生が始まる。

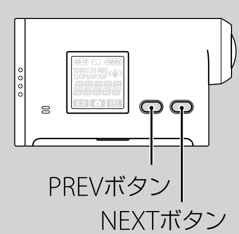
もう一度ENTERボタンを押すと、再生が止まる。

ご注意

- 本機のHDMI OUT端子には、マイクロHDMIケーブル（別売）のマイクロHDMI端子を接続してください。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- マイクロHDMIケーブル（別売）はHDMIロゴが付いているものをお使いください。

再生中コンテンツを操作するには

- 前／次の画像を見る：PREV/NEXTボタン
- 早戻し/早送りをする（動画のみ）：PREV/NEXTボタンを長押し
- 一時停止する（動画のみ）：PREV、NEXTボタンを同時押し
  一時停止中にPREV/NEXTボタンを長押しするとスローで戻し/送りができます。
- ボリュームを操作する（動画のみ）：PREV、NEXTボタンを同時長押し
- スライドショーを開始する（静止画のみ）：PREV、NEXTボタンを同時押し
- 再生を終了する：ENTERボタン



目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

Wi-Fiを設定する

設定画面 

スマートフォンで本機を操作したり、画像を表示・転送することができます。
本機を操作するには、22ページをご覧ください。
画像を表示・転送するには、スマートフォンの対応アプリ「PlayMemories Mobile」を、お持ちのスマートフォンのアプリケーションストアからダウンロードしてください。
本機をアクセスポイントとして使うことができます。

設定する前に用意するもの

- 取扱説明書に添付されているシール（ID/パスワード記載）
- お手持ちのスマートフォン

1 NEXTボタンを押し、電源を入れる

2 NEXTボタンを押し、［SEND］を表示させる

3 ENTERボタンを押して[PREP]を表示させ、Wi-Fiを起動する

Wi-Fi接続状況（自動表示）
[PREP]（接続準備中）→[AWAIT]（接続待ち）
Wi-Fi接続を解除する場合は、ENTERボタンを押す。

ご注意

- 本操作を実行するには、本機で撮影した動画または、静止画が保存されているメモリーカードが挿入されている必要があります。
- 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティーの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。
- 本機Wi-Fi機能でのインターネット接続はできません。

スマートフォンを設定する

1 スマートフォンに「PlayMemories Mobile」をインストールする

2 スマートフォンを設定する

お使いのスマートフォンがiPhoneの場合

① スマートフォンの[設定]→[Wi-Fiネットワーク]→[ネットワークを選択]で、本機を選択する。
② [パスワード入力]に、取扱説明書に添付されているシールに記載されたパスワードを入力して設定を完了する。
③「PlayMemories Mobile」を起動する。
スマートフォンがカメラに接続される。

目次
やりたいことから探す
設定一覧から探す
索引

次のページにつづく↓

お使いのスマートフォンがAndroidの場合

① スマートフォンで「PlayMemories Mobile」を起動して、本機を選択する。

② 取扱説明書に記載されているパスワードを入力して設定を完了する。
スマートフォンがカメラに接続される。

パスワードを紛失したときは

①本機とパソコンをマイクロUSBケーブル（付属）で接続する。
②本機の電源を入れる。
③パソコンの画面で、[コンピュータ] → [PMHOME] → [INFO] → [WIFI_INF.TXT]の順に表示させ、IDとパスワードを確認する。

スマートフォンにデータをコピーする

本機で撮影した動画や静止画をスマートフォンにコピーします。

1 NEXTボタンを押し、電源を入れる

2 NEXTボタンを押し、[SEND]を表示させる

3 ENTERボタンを押して[PREP]を表示させ、Wi-Fiを起動する

Wi-Fi接続状況(自動表示)

[PREP](接続準備中)→[AWAIT](接続待ち)

[READY] と表示されると、スマートフォンからの操作でスマートフォンにデータをコピーできる。

ご注意

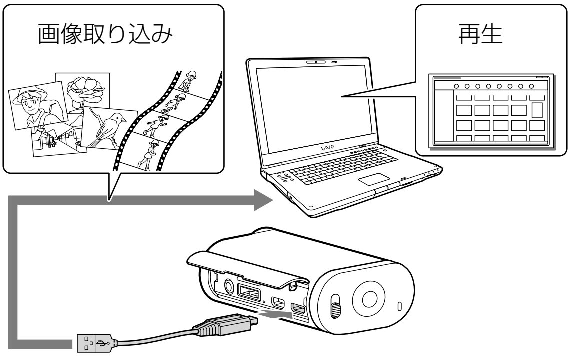
- [AWAIT]表示中に以下の操作を行うと、[READY]が表示されます。
  - 「スマートフォンを設定する」(40ページ)の操作を行ったとき
  - Wi-Fi Direct*機器からDirect要求を受付け、[ACPT?]画面でENTERボタンを押し、Direct接続を許可したとき

* アクセスポイントがなくても、無線LAN搭載のデバイス同士をWi-Fiで接続できる規格です。

パソコンとつないでできること

Windows

「PlayMemories Home」を使うとパソコンへの画像取り込みや、再生が簡単にできます。
以下のURLからインストールしてください。
http://www.sony.net/pm



• パソコンとの接続は、マイクロUSBケーブル（付属）をお使いください。

Mac

「PlayMemories Home」はMacに対応していません。
Macで画像取り込み、再生をする場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。
詳細は、http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/をご覧ください。

パソコンの準備をする(Windows)

準備1 パソコン環境を確かめる

OS*[1]	Microsoft Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
CPU*[2]	Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上
メモリー	Windows XP 512 MB以上 (1 GB以上を推奨します。) Windows Vista/Windows 7 1 GB以上
ハードディスク	インストールに必要なディスク容量： 約500 MB
ディスプレイ	解像度1,024 × 768ドット以上
その他	USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)) ハードディスクのファイルシステムは、NTFS またはexFATを推奨します。

*[1] 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

*[2] より高速なCPUを推奨します。

ご注意

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

次のページにつづく↓

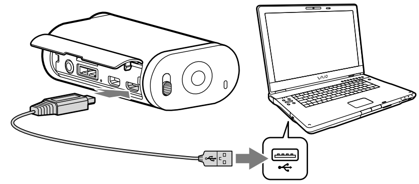
準備2 「PlayMemories Home」をインストールする

1 パソコンの電源を入れる

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

2 本機とパソコンを接続する

以下のWebサイトからダウンロードする。
http://www.sony.net/pm
自動再生ウィザードが表示されます。



3 画面の指示に従ってインストールを進める

インストール完了後、「PlayMemories Home」が起動する。

- あらかじめにパソコンに「PlayMemories Home」がインストールされている場合は、本機をパソコンに接続して「PlayMemories Home」に登録してください。本機で使用できる「PlayMemories Home」の機能が有効になります。
- PMB（Picture Motion Browser）がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能で一部ご使用いただけなくなる機能があります。
- 「PlayMemories Home」について詳しくは（PlayMemories Home ヘルプガイド）、またはPlayMemories Homeサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmh-sj/）をご覧ください。

次のページにつづく↓

パソコンとの接続を切断するには

Windows7のときは

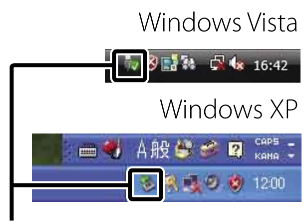
1 タスクトレイの⏶をクリックする
2 通知領域の切断アイコンをクリックする
3 取りはずすデバイスをクリックする



切断アイコン

Windows Vista/Windows XPのときは
以下の操作を行いたいときは、1 ～ 3の手順をあらかじめ行ってください。
- マイクロUSBケーブル(付属)を抜く
- 本機の電源を切る

1 タスクトレイの切断アイコンをダブルクリックする
2 (USB大容量記憶装置デバイス) → [停止]をクリックする
3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする

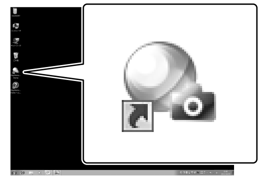


切断アイコン

ご注意

- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンからのアクセスは、「PlayMemories Home」を使用してください。パソコンから直接本機のファイルやフォルダーを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。
- パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、「PlayMemories Home」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- Mac使用時は、ドライブのアイコンをごみ箱にドラッグ＆ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

「PlayMemories Home」を起動する



1 デスクトップの「PlayMemories Home」をダブルクリックする

「PlayMemories Home」が起動する。



2 「PlayMemories Home」の使いかたを見るには、デスクトップの「PlayMemories Homeヘルプガイド」のショートカットをダブルクリックする

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[PlayMemories Home]→お好みの項目の順にクリックしてください。

製品登録にご協力ください

- ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。
- PlayMemories Homeインストール画面のメニューから製品登録へとお進みください。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 49 ～ 52ページの項目をチェックし、本機を点検する。

❷ 本機の電源を切り、再び入れる。

❸ 相談窓口に電話で問い合わせる。

バッテリー・電源

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付けてください。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(13ページ)。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。
- オートパワー OFFの設定で[OFF]を選択すると、自動的に電源が切れなくなります。

バッテリーの持続時間が短い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 本機を長期間使用していない場合は、何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。
- バッテリーを充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときはバッテリーが劣化している可能性があります。相談窓口にお問い合わせください。

充電できない。

- 本機の電源を切ってから接続してください。
- マイクロUSBケーブル(付属)をいったんはずして、接続し直してください。
- マイクロUSBケーブル(付属)を使用してください。
- 充電に適した温度範囲(10 ℃～ 30 ℃)で充電してください。
- パソコンの電源を立ち上げてから本機を接続してください。
- パソコンのスタンバイ(スリープ)、休止状態を解除してください。
- パソコンのUSBコネクタにマイクロUSBケーブル(付属)を直接つないでください。
- 対応しているOSのパソコンで充電してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットしてください(27ページ)。

動画を撮る

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません。

画像を見る

再生できない。

- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- マイクロHDMIケーブル(別売)を接続してください。

テレビに画像が出ない。

- 接続が正しいか確認してください(39ページ)。

パソコン

本機がパソコンに認識されない。

- バッテリー残量が少ないときは、本機を充電してください。
- 本機の電源を入れてからパソコンに接続してください。
- 接続には、マイクロUSBケーブル(付属)を使ってください。
- 一度パソコンと本機からマイクロUSBケーブル(付属)を抜いて再びしっかりと差し込んでください。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずしてください。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続してください。

画像を取り込めない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続してください(44ページ)。

「PlayMemories Home」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認してください。

「PlayMemories Home」が正しく動作しない。

- 「PlayMemories Home」を終了し、パソコンを再起動してください。

画像を再生できない。

- パソコンメーカー、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Wi-Fi

画像の転送に時間がかかる。

- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器と本機の距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

その他

レンズがくもる。

- 結露しています。電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

日付/時刻がずれている。

- 日付/時刻を設定し直してください(24ページ)。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。



- バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにバッテリーを充電してください。

ERROR

- 電源を入れ直してください。

HEAT

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。
- 長時間撮影し、本機の温度が上がっています。撮影を終了してください。

NoIMG

- メモリーカード内に再生可能な画像が記録されていません。

LowPw

- バッテリーが切れています。

BATT

- 操作を実行するためのバッテリーの残量が足りません。
- バッテリーの電流値が、最大放電電流値（外部マイクなどを接続しても動作が保証される電流値）を超えたときに表示されます。
- 電源が入っているときに不正バッテリーを検出したときに表示されます。
- バッテリーの劣化を検出したときに表示されます。

FULL

- 撮影するために必要なメモリーカードの残量が足りません。

MAX

- 撮影できるファイル数の上限を超えています。

MEDIA

- メモリーカードが正しく挿入されていません。
- メモリーカードが壊れています。
- メモリーカードのフォーマットが正しくありません。

NoCRD

- メモリーカードが挿入されていません。

NoDSP

- 再生開始時にテレビが接続されていません。

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時	
画質	HQ	VGA	HQ	VGA
NP-BX1（付属）	140	185	80	110
NP-BG1/FG1	105	145	60	85

- 25 ℃で使用したときの時間です。10 ℃～ 30 ℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。
マイクロHDMIケーブル（別売）でテレビを再生するおおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	再生可能時間	
画質	HQ	VGA
NP-BX1（付属）	205	210
NP-BG1/FG1	155	160

動画の撮影可能時間の目安

MP4AVC 2ch 平均

（単位：分）

録画モード	8GB	16GB	32GB
HQ	60	125	250
SSLOW	40	80	165
SLOW	80	165	330
STD	160	325	650
VGA	295	600	1205

- SLOW/SSLOWについては、撮影時に記録できる時間を記載しています（再生時の時間ではありません）。
- ソニー製メモリーカード使用時。

ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、録画モード（18ページ）によっても変わります。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。SSLOWでは約3時間、SLOWでは約6.5時間になります。

次のページにつづく↓

静止画の撮影可能枚数の目安

（単位：枚）

	8GB	16GB	32GB
2M (16:9)	10500	21000	40000

- ソニー製メモリーカード使用時。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶モニター上でご確認ください。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

ご注意

- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

バッテリーについて

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10 ℃～ 30 ℃の範囲で、CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 次のとき、充電中のCHG（充電）ランプが点滅することがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
- バッテリーの温度が低いときは、バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
- バッテリーの温度が高いときは、バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10 ℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- 再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

海外で使う

テレビで見るには

本機で撮影した画像をテレビで見るには、HDMI端子を搭載したテレビ(またはモニター)とマイクロHDMIケーブル(別売)が必要です。

世界時刻表

時差	エリア設定
GMT	リスボン、ロンドン
+01：00	ベルリン、パリ
+02：00	ヘルシンキ、カイロ、イスタンブール
+03：00	ナイロビ
+03：30	テヘラン
+04：00	モスクワ、アブダビ、バク
+04：30	カブール
+05：00	カラチ、イスラマバード
+05：30	カルカッタ、ニューデリー
+06：00	アルマトイ、ダッカ
+06：30	ヤンゴン
+07：00	バンコク、ジャカルタ
+08：00	香港、シンガポール、北京
+09：00	東京、ソウル
+09：30	アレデード、ダーウィン

時差	エリア設定
+10：00	メルボルン、シドニー
+11：00	ニューカレドニア
+12：00	フィジー、ウェリントン、エニウェトク、クエジェリン
-11：00	サモア
-10：00	ハワイ
-9：00	アラスカ
-8：00	サンフランシスコ、ティファナ
-7：00	デンバー、アリゾナ
-6：00	シカゴ、メキシコシティ
-5：00	ニューヨーク、ボコタ
-4：00	サンディアゴ
-3：30	ニューファンドランド
-3：00	ブラジリア、ブエノスアイレス
-2：00	フェルナンドデノローニャ
-1：00	アゾレス、カボベルテ

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。
故障や破損の原因になります。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

本機のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。
– シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
– 上記が手についたまま本機を扱うこと
– ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

次のページにつづく↓

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

別売りのアクセサリーについて

- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
このHDR-AS15は国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

相談窓口にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

本体

[システム]

信号方式
NTSCカラー、EIA標準方式
HDTV 1080/60i方式、1080/60p方式
撮像素子：
7.77 mm（1/2.3型）Exmor R CMOSセンサー
記録画素数：
静止画時 最大200万画素相当（16：9）
総画素数：約1,680万画素
動画時有効画素数（16：9）：約1,190万画素
静止画時有効画素数（16：9）：約1,190万画素
レンズ：
カール ツァイスレンズ
F2.8
f=2.5 mm
35 mmカメラ換算では
動画：f=15.3 mm（16：9）*
露出制御：自動
記録方式：
静止画：JPEG（DCF Ver2.0、Exif Ver2.3、MPF Baseline）準拠
動画：MPEG-4 AVC/H.264（MP4）
音声：MPEG AAC
記録メディア：
"メモリースティック マイクロ"（Mark2）
microSDカード（Class4以上）
microSDHCメモリーカード（Class4以上）
最低被写体照度：6lx（ルクス）
* 手ブレ補正がOFFのとき

[入出力端子]

HDMI OUT端子：HDMIマイクロコネクタ
USB端子：micro-B/USB2.0 Hi-Speed（mass-storage）

[電源・その他]

電源電圧：
バッテリー端子入力 3.6 V（NP-BX1（付属））
バッテリー端子入力 3.6 V（NP-BG1/FG1）
USB端子入力：5.0 V
USB充電：DC 5.0 V、500 mA/600 mA
充電時間：
パソコン経由
NP-BX1（付属）：約245分
NP-BG1/NP-FG1：約185分
AC-UD20（別売）経由
NP-BX1（付属）：約175分
NP-BG1/NP-FG1：約140分
消費電力：1.7 W（動画サイズが[1920×1080 30P]のとき）
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約24.5 mm × 47.0 mm × 82.0 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量：約65 g（本体のみ）
撮影時総質量：
約90 g（NP-BX1（付属）含む）
約92 g（NP-BG1/FG1を含む）
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
リチャージャブルバッテリーパック：
NP-BX1（付属）
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：
定格（最小）容量：4.5 Wh（1,240 mAh）
使用電池：Li-ion
NP-BG1/FG1
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：
定格（最小）容量：3.3 Wh（910 mAh）
使用電池：Li-ion

[ワイヤレスLAN]

対応規格：IEEE 802.11/b/g/n/

[アクセサリー]

ウォータープルーフケース（SPK-AS1）
外形寸法：約35.5 mm × 71.0 mm × 105.5 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
質量：約85 g
耐圧：水深60 mまで*
* 本機が装着されているとき

次のページにつづく↓

接着式マウント（VCT-AM1）
装着バックル
外形寸法：約43.5 mm × 14.0 mm × 58.5 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
質量：約15 g
平面用接着マウント
外形寸法：約50.0 mm × 12.5 mm × 58.5 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
質量：約14 g
曲面用接着マウント
外形寸法：約50.0 mm × 16.0 mm × 58.5 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
質量：約16 g
ウォータープルーフヘッドマウントキット（VCT-GM1）（別売）
ゴーグルマウント
外形寸法：約53.0 mm × 81.5 mm × 63.5 mm
（幅×高さ×奥行き、ヘッドバンドを含まず）
質量：約69 g（ヘッドバンドを含まず）
ヘッドバンド
長さ：約400 mm－600 mm（調整可能）*
*ヘッドサイズ約450 mm－650 mm推奨
幅：約38 mm
質量：約40 g（ゴーグルマウントを含まず）
ヘッドバンドマウント(BLT-HB1)（別売）
外形寸法：約56.0 mm × 58.0 mm × 77.5 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部を除く、ヘッドストラップを含まず）
質量：約91 g（ヘッドストラップを含む）
ヘッドストラップ
長さ：約400 mm－600 mm（調整可能）*
*ヘッドサイズ約450 mm－650 mm推奨
幅：約25 mm

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"Memory Stick Micro"、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDロゴ、およびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、® マークは明記していません。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名HDR-AS10をお選びください。http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。「ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引